

問1 世界文化遺産である富岡製糸場が、明治初期に他の地域ではなく群馬県富岡市に建設された理由として、当時の産業背景をふまえた最も適切な説明はどれですか。 (2023年 福岡県公立入試 類似)

1. 周辺地域で養蚕業が盛んであり、原料となる良質な繭を安定して大量に確保することが可能であったため。
2. 海に面していない内陸県であることから、外国勢力の攻撃を受けにくく、軍需産業の拠点としても期待されたため。
3. 日本初の鉄道の終着点として計画されており、完成した生糸を迅速に横浜港へ輸送する体制が整っていたため。
4. 広大な平野部を利用して、生糸の原料となる綿花の大規模な栽培が古くから行われていたため。

問2 北関東工業地域が、内陸部を中心とした立地でありながら、機械工業を中心に発展を続けている背景を説明したものとして、最も適切なものはどれか。 (2021年 静岡公立入試 類似)

1. 地価が安く広大な土地が確保でき、高速道路網の整備によって自動車や部品の効率的な輸送が可能になったため
2. 大規模な港湾施設が整備されたことで、海外から輸入した鉄鉱石や石炭を直接工場へ運び込めるようになったため
3. 古くから続く製糸業の伝統を活かし、絹織物の技術を先端的な半導体製造へと直接応用させたため
4. 利根川などの豊富な水資源を背景に、電力消費が激しい鉄鋼業や石油化学コンビナートが集中したため

問3 関東地方において、鉄道や道路などの交通網が整備されたことが、地域の人口移動にどのような影響を与えたか。最も適切な説明を選びなさい。 (2022年 長野県公立入試 類似)

1. 周辺地域から東京都心部への通勤・通学が容易になり、都心部への人口や産業の集中が加速した。
2. 都心部の地価が高騰したため、交通網を利用して農村部へ移住する人が増え、都心部の空洞化が進んだ。
3. 交通網の整備によって労働環境が劇的に改善されたため、地方での農業従事者が大幅に増加した。
4. すべての地域へ均等に移動できるようになったため、都心部と周辺地域の人口格差が完全に解消された。

問4 東京などの大消費地の周辺に位置する地域では、その立地条件を活かした農業が盛んです。鮮度が重要視される野菜などを生産し、短時間で市場へ届けることができるこの農業形態を何といいますか。 (2017年 岡山公立入試 類似)

1. 近郊農業
2. 促成栽培
3. 抑制栽培
4. 大規模農業

問5 日本の工業統計において、千葉県を主軸とする工業地域が、隣接する東京都や神奈川県を中心とする工業地帯と比べて、石油化学工業や鉄鋼業の割合が高い理由として最も適切な説明を選択してください。 (2023年 大阪公立入試 類似)

1. 広大な埋立地を確保し、大型船舶が接岸できる大規模な石油化学コンビナートや製鉄所を建設したため。
2. 周辺に大規模な油田や鉄鉱石の採掘場があり、原料を安価に調達することが可能だったため。
3. 首都圏の巨大な消費市場に近いため、パンや清涼飲料水などの食品工業が優先的に配置されたため。
4. 歴史的に中小企業による熟練した加工技術が蓄積されており、精密機械の製造に適していたため。

問6 日本の主要な河川のデータをまとめた資料において、ある河川は「長さが322km、流域面積が16,840平方キロメートル、流れる流域の都道府県数が6」と示されています。この河川について述べた文として、背景や影響を考慮して最も適切なものを選びなさい。 (2019年 岩手県公立入試 類似)

1. この河川は、日本で最も広い流域面積を持ち、広大な関東平野の農業用水や都市用水として利用されている。
2. この河川は、日本で最も長さが長いいため、上流と下流での降水量の差による増水が全国で最も激しい。
3. この河川は、流域面積が日本で2番目に広いため、北海道の泥炭地の地質改良に大きく貢献した。
4. この河川は、山地が急峻な日本の河川の中では珍しく、国際河川のようにゆったりとした流れが特徴である。

問7 栃木県、群馬県、千葉県、茨城県などの関東地方の各県は、乳用牛の飼育頭数が全国でも上位に入っています。これらの地域で酪農が盛んな理由として、最も適切な説明はどれか、次の中から選びなさい。 (2020年 鹿児島県公立入試 類似)

1. 広大な土地と冷涼な気候を活かし、大規模な放牧による飼育を行っているため。
2. 大消費地に近いという利点を活かし、生乳を短い時間で輸送するため。
3. 都市部から排出される加工食品の残さを、主な飼料として安く調達できるため。
4. 冬の積雪量が多く水資源が豊富であり、牛の飲料水を確保しやすいため。

問8 関東地方に属する1都6県のうち、唯一、日本海側に面する新潟県と県境を接している県の県庁所在地はどこか、名称を答えなさい。 (2018年 千葉県公立入試 類似)

1. 前橋市
2. 高崎市
3. 宇都宮市
4. 水戸市

答え合わせ・解説

問1	答え 1 周辺地域で養蚕業が盛んであり、原料となる良質な繭を安定して大量に確保することが可能であったため。	富岡製糸場の建設地として富岡市が選ばれた主な理由は、原料である繭の調達が可能だったこと、工場を稼働させるための水や石炭が確保できたこと、そして大規模な建物を建てる土地があったことです。当時、生糸は日本の輸出総額の多くを占める最重要品目であり、フランスの技術を取り入れた機械製糸の導入により、品質の統一と増産が図られました。なお、綿花は「木綿」の原料であり、生糸の原料は「繭（カイコ）」であるという違いにも注意が必要です。
問2	答え 1 地価が安く広大な土地が確保でき、高速道路網の整備によって自動車や部品の効率的な輸送が可能になったため	北関東工業地域は、東北自動車道や北関東自動車道などの高速道路が整備されたことで、部品や製品の配送が容易になりました。沿岸部に比べて安価で広い工場用地を確保しやすいため、多くの組み立て工場が進出し、機械工業が集積する内陸型の工業地域として発展しました。一方、港湾施設を前提とした重化学工業は、京葉工業地域や鹿島臨海工業地域の特色です。
問3	答え 1 周辺地域から東京都心部への通勤・通学が容易になり、都心部への人口や産業の集中が加速した。	関東地方では、都心を中心に放射状や環状に広がる交通網が整備されたことで、広範囲からの移動が可能になりました。その結果、利便性の高い都心部に経済活動や人口がより一層集まる「一極集中」の現象が顕著になりました。これに対し、地方から都市へ人口が流出することで、地方の過疎化や都市の過密化といった社会問題も発生しています。
問4	答え 1 近郊農業	大都市という巨大な消費地に近い利点を活かし、収穫から出荷までの時間を短縮して新鮮な野菜を供給する形態を近郊農業と呼びます。輸送コストが抑えられることや、消費者のニーズを素早く生産に反映できることが大きな特徴です。
問5	答え 1 広大な埋立地を確保し、大型船舶が接岸できる大規模な石油化学コンビナートや製鉄所を建設したため。	京葉工業地域は、先行して発達した京浜工業地帯（東京・神奈川）に比べて後発で整備されたため、計画的に大規模な埋立地が作られました。そこに原料を直接輸入できる大型港湾と一体化した石油化学コンビナートや製鉄所が誘致されたため、基礎素材を供給する重化学工業が特化して発達したという因果関係があります。
問6	答え 1 この河川は、日本で最も広い流域面積を持ち、広大な関東平野の農業用水や都市用水として利用されている。	流域面積とは、その河川に雨水が流れ込む範囲の面積を指します。利根川は日本最大の流域面積を誇り、日本最大の平野である関東平野を流下しています。そのため、流域に住む多くの人口の生活用水や、広大な耕作地を潤す農業用水を供給する極めて重要な役割を担っています。なお、日本一長い河川は信濃川（367km）ですが、流域面積では利根川が上回ります。
問7	答え 2 大消費地に近いという利点を活かし、生乳を短い時間で輸送できるため。	関東地方は東京などの人口が集中する大消費地を抱えており、鮮度が重視される生乳を短い時間で効率よく輸送できる「近郊農業」の特色を持っています。広大な土地や冷涼な気候を条件とするのは主に北海道の酪農の特徴であり、関東地方の酪農は市場へのアクセスの良さを最大の武器としています。
問8	答え 1 前橋市	関東地方の中で新潟県と隣接しているのは群馬県のみです。群馬県の県庁所在地は前橋市ですが、県内で人口が多く交通の要所である高崎市と混同しないよう注意が必要です。ちなみに、栃木県の県庁所在地は宇都宮市、茨城県は水戸市です。